

広報 たちかわ

ホームページ ● <http://www.city.tachikawa.lg.jp/>
携帯サイト ● <http://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/cell/index.jsp>
ツイッター (@tachikawa_tokyo) ● http://twitter.com/tachikawa_tokyo

市民と市政のつながりを“わ”で表しています

- 今号の主な内容
- 2面 …… 市民防災組織を結成しましょう!
- 3面 …… 各種税金の手続きはお早めに
- 4面 …… 春休みを楽しく有意義に
- 5面 …… シニア/「くるりん」缶バッジプレゼント
- 6・7面 …… 駐車場・自転車等駐車場 指定管理者を変更
- 8~11面 …… スポーツ/健康/講座/催し/募集/お知らせ/官公署・その他
- 12面 …… 児童館に遊びに行こう!



3.10

平成26年(2014年)
月2回(10日・25日)発行

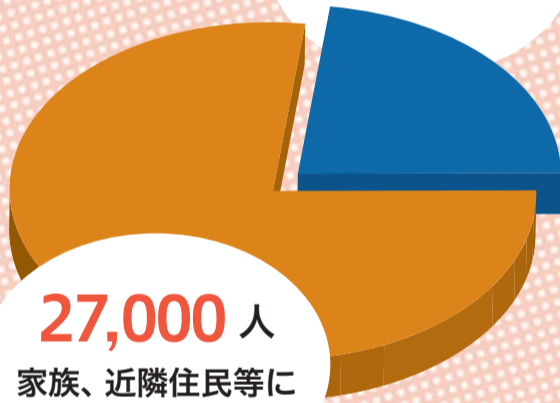
発行/立川市 編集/総合政策部広報課
立川市役所 〒190-8666 立川市泉町1156-9
Tel 042(523)2111(代表) Fax 042(521)2653

自分たちのまちは、自分たちで守る 市民防災組織を結成しましょう

東日本大震災から3年。大地震が発生したときは、あらゆる場所で被害が起こります。あなたのところに消防隊が来るのは遅くなってしまふかもしれません。その間あなたを助けてくれるのは、近所の人しかいません。首都圏で30年以内にマグニチュード7以上の地震が起こる確率は70%といわれています。市民防災組織を結成して近所の人と災害に備えることが、あなたの命を守ります。

大震災発生時、被害を抑えるのは「地域の力」

8,000人
警察、消防、自衛隊に
救出された人



27,000人
家族、近隣住民等に
救出された人

出典：河田恵昭「大規模地震災害による人的被害の予測」『自然災害科学 vol.16. No.1』(1997) .p.8

阪神・淡路大震災では、救出された人のうち、**約8割が家族や近所の人によって救出**されました。市民防災組織などを通じて、普段から防災意識を地域で共有することが大切です。

◀◀◀ 市民防災組織の作り方は
2面をご覧ください



かたらい夢みらい

2月19日から3月の定例議会が開会され、市民生活にとって最も重要な平成26年度予算審議の真ただち中です。

国の進める経済対策の効果が少ないと見られ、先行きに暗れ間がのぞき始めたもとの予算編成でしたが、当初の要求段階では100億円を超える財源が不足し、調整は困難を極めました。

私の考えの基本は、「後世代にツケは極力回さない」です。そのためには、行財政改革を進め、極力借金を抑え、身の丈に合った市の経営を続けることに尽きます。

子育てでは▽小児初期救急平日準夜間診療事業の開始▽保育園、学童保育所の定員増▽5歳児相談事業の開始、教育では▽中学校全校に学習支援員の配置▽一小の建替完成と九小の大規模改修、防災では▽避難所へのマンホールトイレ設置▽緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進、福祉では▽介護保険や国民健康保険における低所得者対策、情報発信では▽市と小・中学校のホームページリニューアル▽動画による市政情報の発信などを予算案に盛り込んでいます。

18万市民の代表として、職員と共に勇気と情熱を持って、取り組んでまいります。

立川市長 清水忠平